

地域おこし協力隊 活動記 Vol.93

ついこの間までの暑さが嘘のように秋と冬がいつぱんに来たような気候になりましたね。皆さん、体調のほうは大丈夫でしょうか。こんにちは、地域おこし協力隊の加賀です。

農家の皆さんは収穫の最盛期で、忙しさがピークのことと思います。お祭りも一段落し協力隊は暇でしょ、とお思われるかもしれませんが、そんなことはございませぬ(笑)。二月に行われる沢田ろうそくまつりの準備や、次号で穂坂修基隊員が詳報するかと思いますが、りんご公園で開かれるりんご収穫祭での出店の準備でなにかと忙しいのです。

十月十九日(木)には、弘前商工会議所青年部の十月定例会に穂坂隊員とお招きいただき、それぞれ二十分ほど、移住者から見た相馬の魅力、弘前の魅力、みたいなテーマで講演をしてみました。

弘前商工会議所は市街地の方が多く相馬についてはあまり知らないようでした。皆さん興味深そうに聞いていただき、とくに相馬に伝わる伝承には、「もっと教えてほしい」という声をいただきました。定例会に先立って沢田神明宮に数名の方



10月19日、弘前パークホテルで行われた弘前商工会議所青年部の10月定例会で講演

をご案内した時も、皆さん「前々から興味はあったけど、初めて来ました。すごいですね」と興味津々で祠まで登っていました。

ところで、相馬にお住いの方はご存じでしょうか、八月に相馬の郷土史を研究するサークル「相馬凸凹学会」というのを立ち上げ、月一回会報紙を発行しています。意外だったのは、相馬地区以外からの問い合わせが思いのほか多かったこと。陸奥新報さん、東奥日報さん、朝日新聞さんに取り上げていただいたこともあって、弘前市内はもちろん、遠くは今別町、青森市、五所川原市の方々から「相馬について知りたいので、『凸凹新聞』



10月24日、相馬小3年生・相馬中2年生の合同りんご体験学習(収穫)に同行しました

を送ってほしい」とのお声をいただきました。青森県立図書館からは、「当館でも所蔵したいので毎号送ってほしい」とのことで毎号送付しています。

弘前商工会議所の件と合わせて思ったのは、「相馬に興味のある人って意外と多いんだな」ということです。りんごをはじめ、地域に残るおもしろい伝承や史跡など、相馬には人を引き付けるような魅力・価値があるということではないでしょうか。そんな魅力・価値をもっと多くの人に、そして地域の人たちにも知ってほしいと願っていますし、そのための取り組みを進めていこうと思っています。

